



## 政策方針 27 POLICY

# 都市の歴史に支えられた伝統・文化が新たな魅力を生み出す

都市の発展とともに歴史の中で築かれてきた伝統・文化や個性のあるまちが多く存在する特性を生かし、伝統と先進が融合する東京らしさを感じられる都市空間を未来に継承します。

## 取組 1 INITIATIVE

## 地域の歴史や伝統、文化をまちづくりに生かす

まちのいたるところで東京の歴史や文化を感じることができる

- 歴史的価値の高い建物や庭園などの保全、景観基本軸\*における景観誘導等により、魅力的な景観を形成します。
- 江戸、明治、大正、昭和など、それぞれの時代の雰囲気を感じられる街並みの保全・再生やものづくりなどの伝統的な地場産業や生活文化の価値を高めるまちづくりを誘導します。
- 開発の機会等を捉え、歴史的建造物や土木遺産、江戸文化などの保全を図るとともに、質の高い建築デザインを誘導します。
- 商業・文化機能の集積も充実させながら、デジタルアート等最先端の技術も活用し、過去、現在、未来が融合した多様性ある都市空間を拡充します。
- 地域の特性に合わせ、不燃化・耐震化を進める中で、難燃化の技術を活用した木材を外壁や外構に取り入れるなど、路地の風情や木造の良さを残すまちづくりを誘導します。
- 地域の道路や公園を活用した植木市の開催により、伝統ある都内産の植木の生産と利活用を促進します。

## 開発の機会を捉えた文化施設の導入例



中央区 GINZA SIX 能楽堂

## 文化・芸術やにぎわいの場を 都市の中に生み出す

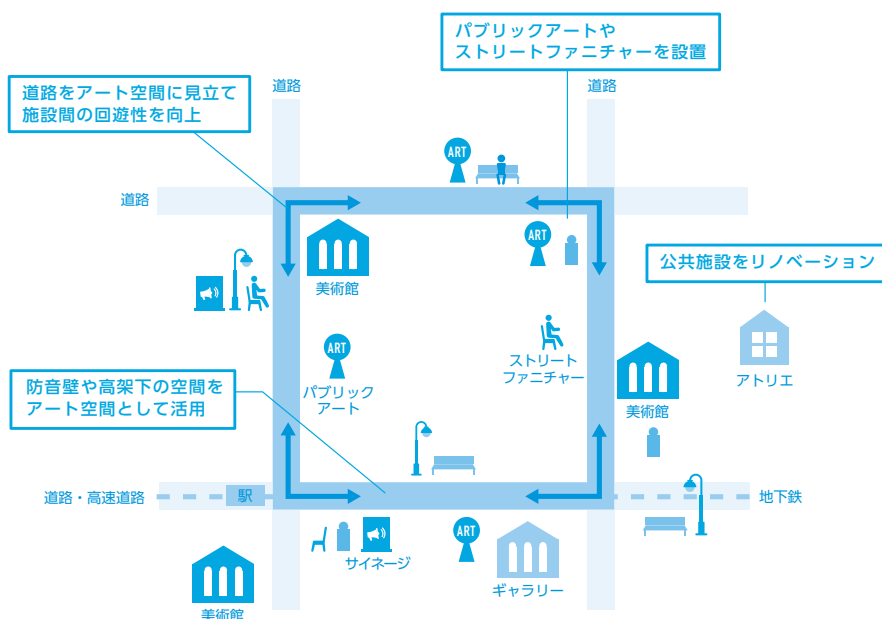
### 演劇や音楽、アートを 楽しめる場所が増えている

- 日常生活の中でも文化・芸術を身近に体験できるよう、地域の様々な主体が連携し、道路や公園、駅などを含め、まち全体で文化・芸術に親しめる空間の創出を図ります。
- 様々な開発の機会等を捉え、地域のニーズに合わせてホール・劇場などの整備を誘導し、芸術・文化への接点を増加させるとともに都市の魅力を生み出していきます。  
(例：日本橋室町三丁目新ホール、新宿住友ホール(仮称)、有明ガーデンシティホール(仮称)、Hareza池袋新ホール(仮称)など)
- 既存のホール・劇場などの改修や建替えを促進するとともに、それ以外の文化施設や商業施設、まちなかの公共空間などの活用により、多様な公演の場を確保します。
- 東京2020大会に向け、これまでにない魅力的な文化プログラムを展開し、東京の多彩で奥深い芸術文化の魅力を国内外に発信します。
- 都立文化施設における多言語対応やバリアフリー化を進めるほか、様々な事業により、あらゆる人が芸術文化を享受できる環境を整備します。

### 公共空間が芸術・文化や にぎわいの場としても使われている

- 歩行者空間や公開空地を、歩きやすさに配慮しながら芸術・文化・にぎわいの場としてもエリアマネジメント団体などが活用できる仕組みを整えます。  
(例：パブリックアートやストリートファニチャー\*の設置、芸術・文化活動を行うアーティストの活動場所、地域のニーズに応じたイベントや祭りなどのにぎわいの場)
- 公共施設の未利用スペースをアトリエや工房等にリノベーションすることなどにより、地域の文化活動の場づくりを誘導します。
- 複数の芸術・文化施設間のアクセスを向上するとともに、設置・運営主体の異なる施設や関係団体・機関などとの連携を促進します。

### まちなかアートプロジェクトのイメージ





## 取組3 INITIATIVE &gt;

 エリアマネジメントにより  
地域の価値を高める

 エリアマネジメントの普及に向けた  
制度が充実している

- 公共空間と民有地の管理区分を超えた地域全体の魅力や価値の向上に向け、民間と行政が緊密に連携し、継続的なエリアマネジメントを推進します。
- 東京のしゃれた街並みづくり推進条例\*に基づく制度の充実等を進め、まちづくり活動を行う団体の活動対象地域を拡大し、公共空間と公開空地の一体的な活用を図ります。
- 様々な開発の機会を捉え、エリアマネジメント団体の発足や、周辺の商店街等の地域活動とも連携したエリアマネジメントを促進します。
- 屋外広告物条例\*に基づく規制の緩和により、公共空間における広告収入等による採算が取れるスキームの形成を誘導し、エリアマネジメント団体の自立的な運営を活性化します。
- 地域づくりの参考となる様々な取組事例や制度の紹介などを通じ、地域主体や区市町村主導のエリアマネジメントを促進します。

 まちに出たくなる  
楽しい空間が増えている

- 道路や河川などの公共空間と公開空地の一体的な利用を、総合設計や再開発事業などの設計の段階から想定し、周辺との連続性を持った空間形成を誘導します。
- 国家戦略道路占用事業\*等の活用を図り、オープンカフェの設置等によりにぎわいを創出します。
- 公共施設の管理・運営にPFI\*を活用し、民間の創意工夫を最大限に生かします。

## 公共空間等でのイベント開催の例



(出典)「第3回都市づくり調査特別委員会」資料(平成27年12月)



千代田区 日比谷公園 (画像提供)オクトーバーフェスト実行委員会



大田区 さかさ川通り (画像提供)大田区



港区 虎ノ門ヒルズ

# 選ばれ続ける 観光都市をつくる

魅力的な観光資源を活用し、海外からのインバウンド需要を最大限取り込むことで、世界の旅行者から選ばれ続けるとともに、日本各地域の活性化にも効果を波及させます。



戦略  
07  
STRATEGY

芸術・文化・スポーツによる  
新たな魅力を創出

## 取組 1 INITIATIVE

### 都市の多様なストックを 観光資源としてフル活用する

歴史的資源や芸術・文化施設が  
様々な角度から活用されている

- 江戸時代から続く伝統文化や最先端の技術を始め、東京が有する「宝物」を最大限活用して、地域ごとに特色のあるまちづくりを誘導します(例:食、エンターテインメント、サブカルチャー、ファッション、豊かな自然など)。
- 芸術・文化施設や庭園、歴史的建造物をユニークベニュー\*や日本文化体験の場などとして柔軟な活用を図ります。

国際的な会議や文化イベントが  
毎日開催されている

- MICE施設について、個々の施設がそれぞれの機能を十分に発揮できるような規模や立地を、広域的な観点から適切に誘導します。
- 国際的な交流の拠点においては、宿泊機能やアフターコンベンション機能と一体となった国際水準のMICE機能の充実を促進します。
- MICE施設周辺における宿泊施設の立地誘導や道路・交通ネットワーク改善などを進めます。

都市空間の中で自然と  
触れ合うことができる

- 公園や道路などの整備に際し、生物多様性にも配慮し、四季を感じることができる樹種の選定や計画的な植樹を図ります。
- 歴史・文化資源の再生や活用、防災性の向上などを図る公園整備を進めるとともに、都民やNPO、企業など、幅広く民間の力を引き出すエリアマネジメントの推進により、公園と連携した周辺のまちづくりに取り組みます。
- 自然環境共生域等において、自然や地形を活用した様々なアクティビティやスポーツを楽しめる環境を実現するとともにアクセシブルを確保します。  
(例:ボルダリング、トレイルラン、グランピング など)
- 島しょ部の観光振興に向け、島同士が競い合いながら誘客を工夫する取組を支援します。

### 都立庭園における日本文化体験の例



中央区 浜離宮恩賜庭園 (画像提供)公益財団法人 東京都公園協会

## 取組2 INITIATIVE

### 観光を誰もが快適に 楽しめるようにする

好みに応じた様々な  
観光ルートを選ぶことができる

- 自転車や走行速度の低い交通モードなどから眺めて楽しめる沿道の景観づくりを関係機関で連携し誘導します。
- 官民連携による行政区域にとらわれない広域周遊ルートを形成します。
- 地域の多様な主体が連携し魅力的な観光地域づくりを戦略的に進めます。

世界中から訪れる旅行者が  
リピーターになっている

- 東京独自の資源、文化・芸術の発信や、外国人旅行者が多く訪れるエリアにおけるニーズに応じた観光情報の取得に向け、最先端のICTの活用により情報都市空間を形成します。  
(例: オープンデータを活用した民間アプリの誘導、Wi-Fi環境の整備など)
- 新たに大型クルーズ客船ふ頭を整備し、世界中の人が訪れる魅力のあるまちづくりを推進します。
- 海外の多様な文化や習慣などに対応できる施設、飲食物等に関する情報提供を支援します。
- 高齢者や障害者が快適に観光を楽しめるよう、公共空間や公共交通へのユニバーサルデザインの導入、バリアフリー化を進め、アクセシブル・ツーリズム\*を充実します。

#### 沿道の景観を楽しめる交通機関の例



(画像提供)豊島区

## 取組3 INITIATIVE

### 都市の魅力としての光に着目し、 夜間景観を演出する

ダイナミックな都市活動が  
ライトアップで光輝いている

- 都市活動の象徴でもある高層ビル群や高速道路、橋などの構造物について、関係機関で連携し地域ごとに統一的なライトアップを進めます。
- 構造物等のライトアップイベントに際して、周囲のビル事業者等に一定時刻以降の消灯の協力を求めるなど、地域全体でその効果を高める取組を促進します。

水辺や緑、歴史を感じる眺めを  
夜も楽しむことができる

- 東京ならではの景観を演出する重要な要素である潤いのある水辺や緑、歴史的建造物などを活用し、関係機関が連携してライトアップを促進します。
- ライトアップ等の活用により、新たな観光資源を創出し、東京の魅力を高めます。

#### 歴史的建造物のライトアップ



(画像提供)台東区(浅草寺許諾)

# スポーツが暮らしの中に と 融け込んだ都市をつくる

スポーツを、にぎわいの創出やコミュニティの活性化の重要な要素として活用し、まちづくりと併せてあらゆる人が身近な場所でスポーツを楽しめる都市空間を形成します。



戦略  
07  
STRATEGY

芸術・文化・スポーツによる  
新たな魅力を創出

## 取組1 INITIATIVE

### スポーツを身近に楽しめる まちをつくる

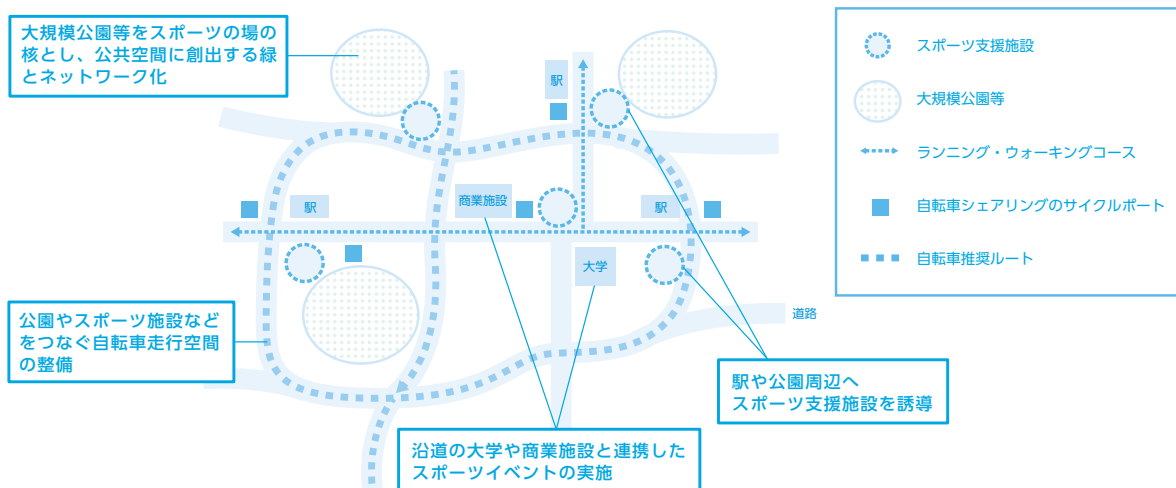
道路や公園、河川沿いが快適に走れる  
スポーツの場としても活用されている

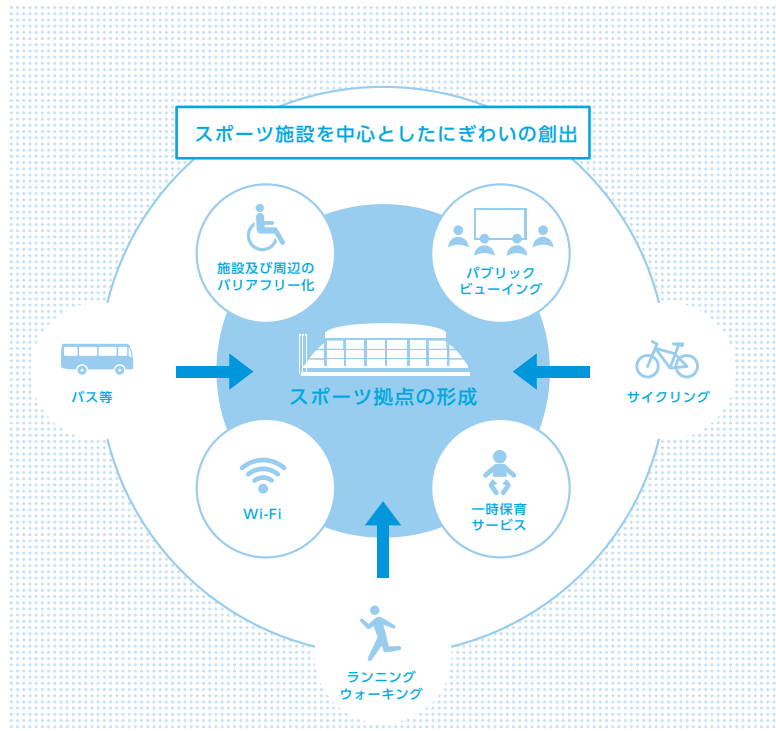
- ランニング・サイクリングなどを誰もが安全、快適に楽しむことができるよう、工事や通行止めなど、様々な情報のオープンデータ化を促進します。

ジョギング・サイクリングコースや公園の  
近くにスポーツをサポートする施設がある

- 周辺開発に併せ、シャワー室や更衣室、駐輪場、トレーニング施設などの整備を誘導します。
- 既存施設に機能を付加し、スポーツをサポートする施設としての活用を促進します。  
(例：銭湯等へのランニングステーション機能、区市町村の庁舎施設等への更衣スペースなど)

### スポーツを身近に楽しめるまちづくりのイメージ





取組2 INITIATIVE

## スポーツ施設を中心としたにぎわいを創出する

大規模なスポーツ施設が  
皆で楽しめる場となっている

- 多世代が楽しめる施設とするため、民間事業者による一時保育や子供の遊び場などのサービス機能の導入を図ります。
- 多目的利用の推進に向けて、最新技術を活用した映像設備や打合せにも使える観戦ルームなどの機能を充実します。

誰もがアクセスしやすい  
スポーツ施設が増えている

- バス、自転車などの短距離の交通の充実により、スポーツ施設へのアクセスを強化します。
- あらゆる人が施設を利用できるよう、スポーツ施設周辺の駅や歩行者空間の更なるバリアフリー化を推進します。

スポーツ施設と周辺地域が  
一体となったにぎわいを生み出している

- 周辺の商店街や地域コミュニティと連携し、施設の特徴を生かしてパブリックビューイングやビアガーデンなどのイベントへ多目的に活用します。
- 周辺の公園や商業施設、宿泊施設などとの一体的な整備により、スポーツやレクリエーションを楽しめるエリアを形成します。



# 東京2020大会の競技施設を 様々な角度から生かす

東京2020大会の競技施設を文化、レジャー活動など、誰もが参加し楽しめるものとするとともに、周辺のまちづくりとの連携も進め、にぎわいの創出につながる面的に広がりのあるレガシーを形成します。



戦略  
07  
STRATEGY

芸術・文化・スポーツによる  
新たな魅力を創出

## 取組1 INITIATIVE

### 臨海部を新たな 一大スポーツゾーンにする

「有明レガシーエリア」が  
スポーツ・文化の拠点となっている

- 大会シンボルや仮設スポーツ施設の移設、スポーツカフェ・ショップなどの設置により、アーバンスポーツゾーンを形成します。
- エリア内に位置する大会関連施設でのイベント開催や民間開発による商業施設、ホテル、ホールなどの豊富な機能集積との相乗効果により、新たな魅力を創出します。

辰巳・夢の島周辺の  
「マルチスポーツエリア」で  
様々なスポーツを楽しむ

- 様々なスポーツ施設、隣接する公園などが連携し、相互利用や大規模大会、イベントの開催などを促進し、多様なスポーツ活動の拠点として広がりのあるレガシーを形成します。
- 夢の島公園と辰巳の森海浜公園との散策路等を通じた連続性を確保します。
- 水辺空間を生かし、新たなレクリエーション空間を創出します。

有明アリーナの整備イメージ



オリンピックアクアティクスセンター周辺の整備イメージ



## 海の森・若洲・葛西周辺の 「ウォータースポーツエリア」で 水上スポーツを体験できる

- 海の森水上競技場、カヌースラローム会場の整備により、若洲海浜公園ヨット訓練所とともにウォータースポーツエリアを形成します。
- 区部中心部に近接し、ボート、カヌー、ラフティング、ヨットなど、様々な水上スポーツを総合的に楽しめる空間を生み出します。

海の森水上競技場の整備イメージ



## 東京2020大会の新規恒久施設へ アクセスしやすくなっている

- 骨格幹線道路の整備やBRTの導入などにより、区部中心部と臨海部とを結ぶ道路・交通ネットワークの充実を図り、臨海部へのアクセスを強化します。
- バス路線の拡充・シャトルバスの導入など、新規恒久施設\*への交通利便性を向上する取組を検討します。

## 選手村が誰もがあこがれ、 住みたいまちになっている

- 子育て支援施設やサービス付高齢者向け住宅、SOHOなどを整備することで、子育て世代や高齢者、外国人など多様な人々が交流し、いきいきと生活できる、東京2020大会後のレガシーとなるまちづくりを進めます。
- 緑の連続性を確保し海に開かれた街並みの形成を進め、水と緑に親しみ、憩いと安らぎが感じられるまちを形成していきます。
- まちのエネルギー源として水素を先導的に導入するなど、環境先進都市のモデルとなるまちの実現に向けた取組を進めます。

東京2020大会後の選手村のイメージ



平成28年8月時点のイメージであり、今後変更の可能性があります。  
(画像提供) ©晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業特定建築者



取組2 INITIATIVE >

神宮外苑地区ににぎわいと  
風格を兼ね備えた世界に誇れる  
スポーツ拠点的形成する

大規模スポーツ施設や公園など、  
既存施設の再編・整備が進んでいる

- 大規模スポーツ施設を連鎖的に建替えるとともに、青山通り沿道等の土地の高度利用を促進し、魅力のある複合市街地を形成します。
- 周辺駅へのアクセスルート等、バリアフリー化された安全で快適な歩行者ネットワークを形成します。

緑豊かで風格のある都市景観が  
創出されている

- 地区計画を活用し、神宮外苑いちょう並木から明治神宮聖徳記念絵画館を望む首都東京を代表する象徴的な眺望を保全するとともに、地区一帯において緑豊かな風格のある景観を創出します。
- 大規模スポーツ施設の人だまり空間や歩行者ネットワークの整備に併せた緑化により、緑豊かな潤いのある都市空間を創出します。

新国立競技場の整備イメージ



(画像提供) 大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所JV作成/JSC提供

取組3 INITIATIVE >

武蔵野の森地区をスポーツと  
にぎわいの拠点にする

競技施設と周辺の公園が  
一体となって利用され  
多くの人々がスポーツに親しんでいる

- 武蔵野の森総合スポーツプラザ\*と東京スタジアムが、周辺の公園と一体となったスポーツ拠点を形成します。
- 周辺駅へのアクセスルート等、バリアフリー化された安全で快適な歩行者ネットワークを形成します。

武蔵野の森総合スポーツプラザと東京スタジアム



## 取組4 INITIATIVE

### 1964年大会のレガシーを 生かしたまちづくりを進める

スポーツだけでなく多様な  
にぎわいの場が生まれている

- 代々木公園や駒沢オリンピック公園などの1964年大会のレガシーを、エリアマネジメントの仕組み等により活用するとともに、周辺のまちづくりと連動させ、緑の回遊動線をつなぐなど、面的な広がりを持って地域で利用します。
- 馬事公苑周辺では、1964年大会の施設をリニューアルし東京2020大会の競技施設として活用するとともに、区と商店街等が連携したユニバーサルデザインのまちづくりを進め、馬に触れ合えるという特徴を生かした新たなにぎわいの創出を図ります。
- イベントの開催や飲食施設の立地、エンターテインメントの場の提供など、1964年大会のレガシーを地域の拠点として多面的に活用し、スポーツだけでなく定常的なにぎわいを創出します。

1964年大会時の駒沢公園中央広場

